てんやわんや（1950）

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 96分
初公開日 1950/07/23

【解説】
原作は1948～49年に毎日新聞に連載された獅子文六による小説。作者本人が愛媛県宇和島市へ疎開した時の様子を題材とした、愛媛県南予地方の風土、文化が詳細に描かれた風刺喜劇。監督は渋谷実、脚本は斉藤良輔と荒田正男が担当。宝塚歌劇団出身である淡島千景の映画デビュー作品。淡島はこの作品でブルーリボン賞主演女優賞を受賞した。共演は佐野周二、桂木洋子、志村喬、藤原釜足、薄田研二。
病気で長期間休んでいた犬丸順吉が久々に勤め先を訪れると、ストライキの真っ最中。社員たちは社長の鬼丸を探していた。彼らは社長の腰巾着と言われていた犬丸を見かけるとたちまち取り囲み鬼丸の行方を尋ねるが、犬丸が知らないとわかると社長秘書の兵子を探し始める始末。犬丸はその兵子に連れられ、キャバレーに入り浸っていた鬼丸のところへ案内された。そこで辞意を伝える犬丸だが、鬼丸から郷里の伊予へ行くよう頼まれる。なんとそこでは“四国独立運動”が繰り広げられており…。

【クレジット】
監督 渋谷実
製作 山本武
原作 獅子文六
脚本 斎藤良輔
撮影 長岡博之
音楽 伊福部昭
出演 佐野周二
淡島千景
志村喬
薄田研二
藤原釜足
三井弘次
桂木洋子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.